まちの話題

10月 6 日[Tue]

多久市 Roa(d)cal（ロードカル） SDGs 発表会を行いました



▲Roa(d)cal（ロードカル）SDGsプロジェクトに参加している関係者のみなさん

令和 7 年 1 月に“多久市2050ゼロカーボンシティ 4 者包括連携協定”を締結した田中鉄工株式会社、全国油脂事業協同組合連合会、九州フードサイクル事業協同組合、多久市の 4 者がこれまでの廃食油リサイクルなどの取り組みの成果を報告する「多久市 Roa(d)cal（ロードカル） SDGs 発表会」が行われました。発表会では、多久市中央公民館や市内スーパーなどに設置した廃食油の回収実績が累計3,366リットルになったことが報告され、廃食油を活用し、松尾建設株式会社多久合材工場でアスファルト合材の製造に活用され始めたことや、市内の義務教育学校で、廃食油を使ったアロマキャンドル作りが行われたことなどが報告されました。



10月15日[Thu]

東原庠舎中央校 9 年生がウォールアート制作！

壁画制作のようす▶







▲小野さんと東原庠舎中央校 9 年 1 組のみなさん

東原庠舎中央校で同校 9 年生が福岡県出身のアーティスト小野裕人（おのゆうと）さんと一緒にアート制作を行いました。この企画は一般社団法人たく21と日本ペイント株式会社、そして多久市の 3 者連携をきっかけに、日本ペイント株式会社の「スクールキャンバス150」として行われたものです。

作品のデザインは、事前に 9 年生にどんな作品にしたいか希望をとり、その結果をもとに小野さんが制作されたもので、小野さんが描かれたアートに 9 年生がスポンジで黄色やピンクなどの色付けを行いました。制作に参加した、東原庠舎中央校 9 年の花島汐音（はなしましおん）さんは「9 年間過ごした中央校にウォールアートを描くことが出来て素敵な思い出になりました」と話されました。

アーティストの小野さんは「学校に通っている子どもたちがこのアートを見て、よし頑張ろうと思ってくれるように制作していきたいです」と話されました。

10月15日[Thu]

こばと保育園でサッカー教室が行われました



▲ミニゲームを楽しむ園児たちのようす

認定こども園こばと保育園でサガン鳥栖サッカースクールコーチによるサッカー教室が行われました。

この教室は、スポーツに親しみ、スポーツを通じて「成長することの楽しさ」などを伝えることを目的に、佐賀県プロサッカー振興協議会がサガン鳥栖と協力して実施している活動です。教室に参加した園児は「とっても楽しかった」「サッカーが一番好き！またやりたい」と嬉しそうに話していました。

今回指導をされたサガン鳥栖サッカースクールの浦田凌斗（うらたりょうと）コーチは「この教室を通してサッカーを楽しんでくれて好きになってくれたらうれしいです」と話されました。

こばと保育園の江里口真園（えりぐちまこと）長は「このスポーツ体験が今後に生かせるものになればいいなと思います」と話されました。



多久をたくさん知ってもらうSNS！
登録をおねがいします！
多久市公式LINE